

学校法人 文化学園
川口文化服装専門学校
高等課程
令和5年度
学校関係者評価 報告書

川口文化服装専門学校
学校関係者評価委員会
令和6年7月

目次

1. 報告書骨子.....	1
2. 学校関係者評価委員	1
3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言.....	2
3-1 教育理念・目標	2
3-2 学校運営	3
3-3 教育活動	4
3-4 生徒指導等	5
3-5 特別活動等	6
3-6 学修成果	7
3-7 生徒支援	8
3-8 教育環境	9
3-9 学生の受入れ募集.....	9
3-10 財務	10
3-11 法令等の遵守	11
3-12 社会貢献・地域貢献	12
4. 学校関係者評価を受けて.....	13

1. 報告書骨子

学校関係者評価委員会（以下、当委員会）は、「川口文化服装専門学校 学校評価実施要綱」に基づき、項目別自己評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者により本校の学校運営・教育活動について検証・助言を得ることを目的として実施している。当委員会の委員は外部委員のみで構成され、本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から選考し、委嘱している委員構成は下記「2. 学校関係者評価委員」に記載の通りである。

本報告書は、令和5年度の本校の取組みに対し当委員会としての評価・助言を得た内容をまとめ作成したものである。

2. 学校関係者評価委員

評価実施者：委員4名（企業関係者2名、業界関係者1名、保護者・地域住民1名、）

「学校関係者評価」評価方法について

令和5年度の学校関係者評価は書面により実施した
評価方法は採点方式とし、下記の基準にて評価をいただいた

- ・適切な状態を4点、
- ・ほぼ適切な状態を3点、
- ・やや不適切な状態を2点
- ・不適切な状態を1点

本資料においては、委員4名の平均評価点数を算出の上、小数第1位を四捨五入した点数を記載した。

配布資料：

1. 川口文化服装専門学校 学校関係者評価実施要項
2. 川口文化服装専門学校 高等課程 自己評価報告書
3. 川口文化服装専門学校 高等課程 自己評価集計表
4. 学校関係者評価記入シート

3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言

令和 5 年度自己評価において、本校が設定している評価項目に対する委員からの提言は以下の通りである。

3-1 教育理念・目標

【本校の現状】

服装に関する技術教育・職業実践教育と併行して教養と創造性の育成、及び常に変化していく現代社会にあって、在り方・生き方を考え、主体的に行動し積極的に自己実現していくにふさわしい人材育成を教育理念としている。

高等課程 1 学科 2 コース（服装科 高校併修コース・洋裁コース）を設置しており、少人数クラス制のなかで各々が基礎から知識を学び「着たいもの」が「作れるもの」になる技術、及びクリエイターとしての感性を備えることで職業人・産業人として社会で能力を発揮できる人材を目指して教育を実施している。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 教育理念・目標 平均評価：2 点（やや不適切）

- ・令和 6 年度の卒業生を最後に完全休校となるのは非常に残念、今後も時代のニーズに合った教育方法を導入していく事が必要であることに同意する。
- ・理念なので特段毎年変わるものではないので特に問題ないと思われる。ただし、時代の変化も大きいのでその点は考慮する必要がある。
- ・令和 6 年度の卒業生を最後に休校となるが、今後の学校としての地域貢献など応えていけると良いと思う。

3-2 学校運営

【本校の現状】

法人として、規程の整備や情報公開に関する取組みには向上した点もみられるが、さらに改善の余地はある。また、業務の効率化においては共有書類など電子化への移行が進み業務の効率化につながっている。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 学校運営 平均評価：2点（やや不適切）

- ・教育活動等に関する情報公開、情報システム化等による業務効率化については適切だと思う。
- ・運営組織や教務・財務等の意思決定の簡素化・迅速化・運営方針の明確化が必要と感じる。
- ・前年と比べてトータルで改善されているので適切と思われる。
コンプライアンス等への対応は何か問題がおきてしまうと大事になる事と同時に、問題が発生した際には素早く適切に対応することがより求められる。
- ・コンプライアンス、ガバナンスなどが求められる昨今、取り組みを強化すべき点であると思う。

3-3 教育活動

【本校の現状】

これまで以上に個々の学生の個性を大事にし、希望進路の実現にむけ、高等専修学校教育の特徴でもある専門科目内容の充実と、資格取得にも積極的に取り組んでいる。

【学校関係者評価委員会からの提言】

高等課程 教育活動 平均評価：3点（ほぼ適切）

- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保には課題が必要であるが、資格取得に関する指導体制は結果も出ておりとても良いと思う。
- ・多くの点で改善されていると思われる、そのためしっかり優先順位を付けての対応がより求められる。
- ・学校を選択する際に重要となる教員の確保については早急に対応が必要、文化服装学院連鎖校との交流等に期待したい。

3-4 生徒指導等

【本校の現状】

個人面談や三者面談にて、進路意識の共有を行いながら、進学も含め生徒の話に耳を傾け指導に取り組んでいる。

また、体調不良等のために長期欠席が続く生徒へは自宅学習教材などを用意し、対応につとめている、技能連携校である埼玉県立大宮中央高等学校とは、密に連絡をとりながら生徒情報の共有を行っている。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 学修成果 平均評価：4点（適切）

- ・ほとんどの項目に4の評価があり、先生方一人一人が生徒一人一人に丁寧に接しているのが伺えとても良いと感じる。
- ・認定試験や進学の合格、作品発表の場に成果が表れている。
- ・生徒・保護者が安心して通うことのできる体制が整っていると思う。
- ・長期欠席者への対応や準備も適切と思う。
- ・これまでも良かった点に加え、より改善が見込まれている。長期欠席者の支援はリモート等の活用ができるのであればそのようなツールを使う事も選択の1つかと思う。
- ・遅刻や長期欠席者については体調不良であれば致し方ないが、理由によっては適当な指導を更に強化すべきと思う。

3-5 特別活動等

【本校の現状】

クラブ活動・特別活動については生徒数が少ないため、当校独自での実施は難しい。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 特別活動等 平均評価：1点（不適切）

- ・クラブ活動、特別活動の奨励については改善点が多いと思う。技能連携校である大宮中央高等学校と協力し部活動周知をするのが良いと思う。
- ・前年比より評価が下がっている、技能連携校での選択肢をしっかりと伝えることが必要である。
- ・生徒数が少ないため、難しい議題ではあるが技能連携校である大宮中央高校や文化服装学院連鎖校との交流を行うことで学生達にとって刺激にもなると思うので、積極的に検討いただけると良いと思う。

3-6 学修成果

【本校の現状】

洋裁技術認定試験 3名受験（初級合格 2名、中級合格 1名）

高等課程 3年生は全員進学（文化服装学院 1名、東京デザイナー学院 2名）合格。

進学率の向上や資格取得のため、検定講座やキャリア教育に力を入れている。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 学修成果 平均評価：4点（適切）

- ・令和4年度から令和5年度、ほとんどの項目で自己評価が上がっていることは先生方のご努力と感じる。
- ・長期欠席者、保護者との連絡を密に取り合った結果、退学者の低減に繋がっていると思う。
- ・高等課程の学生全員の進学は素晴らしいと思う。
- ・進学先のキャリア形成を把握し、その為に必要な能力を磨いていく教育活動がこれからは必要だと思う。
- ・これまでも良かった点がさらに改善された点も多く、このまま進んでいただきたい。キャリア育成に直結する点なので卒業後の生徒の進路把握も求められる。
- ・生徒達の卒業後のキャリアについては下級生たちの意識向上に直結すると思うため、積極的に追いかけると良いと思う。

3-7 生徒支援

【本校の現状】

生徒への経済的支援として、高等学校就学支援金及び埼玉県私立高等学校等奨学のための給付金、埼玉県父母負担軽減事業補助金の支援制度を利用している。

しかし、課外活動や卒業生への支援体制がまだ整っておらず、特に卒業後の進路・就職支援について状況を把握できるように体制整備中である。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 生徒支援 平均評価：3点（ほぼ適切）

- ・全体的な支援体制は整っていると感じるものの、課外活動に対する支援体制の整備、卒業生への支援体制が整っていない状況だと感じる。
- ・全般的に支援体制が整えられてきていると思われる。
卒業後の進路等について、他の項目にもあるが把握をし、連絡まで至らずとも確認できる体制があった方が良い。
- ・卒業生のキャリアもだが在校生の進路についてもこれまでの学修成果が活かせるよう就職や進学の支援が必要だと思う。

3-8 教育環境

【本校の現状】

施設の老朽化が著しい、消防設備点検や耐震診断など緊急時に備えた点検は実施しているが、修繕が必要な部分も多い。改善を要する教室備品の老朽化や破損に伴う新規購入は担当教員と校長とで相談の上、適切に整備している。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程教育環境 平均評価：2点（やや不適切）

- ・設備の老朽化は仕方がないものの、教育上必要な施設・設備は必要ではないかと感じる。
- ・施設等の改善が求められる部分があると思われる、優先順位をつけ順次対応が求められる。
- ・設備、施設の老朽化は致し方ないが、学問を行う場として安心・安全な状態への修繕は必要と思う。

3-9 学生の受入れ募集

【本校の現状】

将来的な施設の建て替えを見据え、令和4年度より新規生徒の募集を停止している。これに伴い、令和5年度の学生等受入に関する学校関係者からの意見を求めなかった。

3-10 財務

【本校の現状】

収支計画の見通しを明確にすることが求められ、支出内容の見直しや財務基盤の安定・改善を図っている。

財務情報については学内設置で公開可能ではあるが、広く公開するための環境については検討する必要がある。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 財務 平均評価：2点（やや不適切）

- ・会計監査が適正に行われていることはとても良い点だと思う。今後、財務書類の準備および公開体制の整備の迅速化が必要である事に同意する。
- ・前年比マイナス点が増えている点もあり、より適切な運営が求められる。
- ・財務面については早急に見える化をし、コンプライアンス面での問題がないことを公開することも必要だと思う。

3-11 法令等の遵守

【本校の現状】

自己評価結果をホームページ上で公開はしているが、問題点等について学校長と教職員での話し合いが設ける事ができていない。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 法令等の遵守 平均評価：3点（ほぼ適切）

- ・自己評価結果を公開しているものの、自己評価結果について理事長と教職員間での確認・改善についての打ち合わせを行う事が必要であると考えます。
- ・しっかりと法令遵守体制が取られていると思われる。教職員を含め認識を同じくする必要がある。
- ・経営陣と教職員とのギャップ等がないよう、定期的な確認が必要だと思ふ。

3-12 社会貢献・地域貢献

【本校の現状】

生徒のボランティア活動については支援体制がまだ出来てはいないが、学校施設を利用した社会人向け洋裁講座を開講している。令和5年度では近隣の商業施設にて、学生と社会人受講生との合同ファッションショーを開催するなど地域活動に力をいれている。

【学校関係者評価委員からの提言】

高等課程 社会貢献・地域貢献 平均評価：3点（ほぼ適切）

- ・文化服装学院ファッションショー見学、アリオ川口でのファッションショー開催など教育資源や施設を活用した活動はできていると思う。
- ・今後は更に生徒へのボランティア活動への情報告知をし、支援していくことが必要ではないかと思う。
- ・生徒のボランティア活動等は参加しやすい体制を作ることが求められる。
- ・地域に根ざす教育機関として、地域貢献は必要不可欠。学生・教員共に地域への貢献を意識する必要があると思う。

4. 学校関係者評価を受けて

教職員へ実施した自己評価結果をもとに、学校関係者委員の方々には学校運営ならびに教育活動について具体的なご意見を頂戴した。

また幅広い視野での提言から、内部の視点だけでは見えていなかった点にも気付きを得ることができ、改めて外部評価の重要性を感じた。

今回、委員の方々から頂いた提言で早急に取り組むべき課題を精査し、職員会議等で共有し、次年度の改善目標とする予定である。特に、財政基盤の安定は急務であるため、更により広い視野での具体的対応策を実行していく。

次年度も自己評価ならびに学校関係者評価を継続して実施し、本学の教育環境のさらなる向上に努めていく所存である。